# — <mark>品詞</mark> —

「語」(word)とは、文を構成する最も小さな要素のことで、この「語」は、その意味や文中での働きから、次の8つの**品詞**に分けられる。

1語1品詞とは限らず、2つ以上の品詞を持つ語も多い(例えば hard は形容詞なら「硬い、熱心な、難しい」などの意味となり、副詞なら「熱心に、しっかりと」などの意味となる)。

次の一覧表で品詞にはどのような種類と特徴があるのかを確認しよう。

品詞名	特徴
	人・事物などの名を表す語。 <b>主語・補語・目的語</b> になる語。
名詞	〈例〉boy, teacher, book, family, sugar, rain, kindness(親切), Tom など。
Noun	〈例文〉My <b>father</b> is a <b>doctor</b> . (私の父は医者です。)
Noun	Tom likes music. (トムは音楽が好きだ。)
代名詞	名詞の代わりに用いられる語。
10 10 10	〈例〉I, his, them; mine; himself; this, all, each;
Pronoun	疑問代名詞の who など; 関係代名詞の who, that など。
Tronoun	〈例文〉I like <b>him</b> . (私は彼が好きだ。)
	<b>Whose</b> is <b>this</b> ? - <b>It</b> is <b>mine</b> . (「これは誰のものですか。」「私のものです。」)
形容詞	名詞・代名詞の状態・性質・数量などを表す語。
70 台 间	役割① 名詞・代名詞を修飾する。(この意味では冠詞(a[an], the)も形容詞)
Adjective	役割② 補語(主格補語・目的格補語)になる。
Adjective	〈例〉happy (幸せな), kind (親切な), many (多数の),
	some (いくつかの, いくらかの), three (3 つの) など。
	〈例文〉Tom is a <u>clever</u> boy. 〔直接 <b>名詞を修飾</b> 〕
	(トムは利口な少年だ。)
	Tom is <b>clever</b> . 〔補語〕 (トムは利口だ。)
	s v c

品詞名	特徴
副詞	様態・時・場所・程度・頻度などを表す語。修飾語。
副詞	動詞、形容詞、他の副詞や、句・節・文全体(⇒つまり <b>名詞以外)を修飾する語</b> 。
Adverb	〈例〉slowly (ゆっくりと), very, often, here, 疑問副詞の when など。
	〈例文〉He runs <b>very fast</b> . (彼はとても速く走る。)
	Where did you see him yesterday?
	(昨日どこで彼を見かけたのですか。)
動詞	主語の動作・状態を述べる語(述語動詞となる語)。
20 0-3	〈例〉live, write, give, buy など。
Verb	〈例文〉She <b>walked</b> home. (彼女は歩いて帰った。)
70.5	He <b>gave</b> me a book. (彼は私に本をくれた。)
	注意 will, would, can, could, may, might, shall, should, must などの
	<b>助動詞</b> もある。
前置詞	名詞・代名詞などを従えて形容詞句・副詞句(=修飾語句)を作る語。
別追判	〈例〉at, on, in, from, to, for, of, with など。
Preposition	〈例文〉The red flowers <u>in</u> the garden are roses. (庭の赤い花はバラです。)
	They stayed <u>at the hotel</u> . (彼らはそのホテルに泊まった。)
t☆ 〈幸 ≡ョ	語と語、句と句、節と節を結びつける働きをする語。
接続詞	〈例〉and, but, that, when, until, because, if など
Conjunction	〈例文〉He <b>and</b> I are good friends. (彼と私は仲よしです。)
	I am hungry <b>because</b> I didn't have breakfast.
	(私は朝食を食べなかったので、空腹なのです。)
₽8 ∔ル ≘⊐	驚き、喜び、怒り、悲しみなどの感情を表す語。
間投詞	〈例〉oh(おお), ah(ああ)など。
Interjection	〈例文〉Oh! How foolish I was! (ああ、なんて私はばかだったんだろう。)

確認問題:次の語の品詞を以下の記号から1つずつ選びなさい。

ア. 名詞 イ. 動詞 ウ. 形容詞	工. 副詞 オ. 前置詞 カ. 代名詞	司 キ.接続詞
(1) doctor ( )	(2) Thailand ( )	(3) oxygen ( )
(4) play ( )	(5) import ( )	(6) protest ( )
(7) happy ( )	(8) uncomfortable ( )	(9) fast ( )
(10) well ( )	(11) yesterday ( )	(12) here ( )
(13) careful ( )	(14) carefully ( )	(15) friend ( )
(16) friendly ( )	(17) I ( )	(18) they ( )
(19) there ( )	(20) then ( )	(21) in ( )
(22) at ( )	(23) through ( )	(24) because ( )
(25) Pneumonoultramicro	oscopicsilicovolcanoconio	sis ( )

### 第1日 品詞と5文型

- ◆ **品詞** 文法の最小単位は通常は「語」(word)であるが、この「語」はその意味や文中での働きから8つの品詞に分けられる(具体的には1,2ページの表を参照のこと)。
- ◆ **5 文型** 全ての英文はその構造により第 1 文型から第 5 文型の 5 種類の文に分類できる。言い方を変えれば、 5 種類の英文の読み方を知っていれば全ての英文が読める。以下に概要を示す。

**第1文型 S V** 「SがVする」

A plane flies.

第2文型 S V C 「SがCである」、「SがCになる」

She is kind.

**第3文型 S V O** 「SがOをVする」

I bought a book.

第4文型 S V IO DO 「SがIOにDOをVする」

(詳しくは p.7 参照のこと)

He gave her a rose.

第5文型 S V O C 「SはOがCであるとVする」「SはOがCするようVする」

We elected her chairperson.

#### 〈文の要素〉

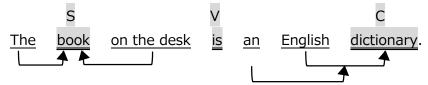
S: <u>主語</u>	<b>V</b> : <u>(述語)動詞</u>
<b>O</b> : <u>目的語</u> (IO: 間接目的語 / DO: 直接目的語)	C: <u>補語</u>

※ M:修飾語(基本的に文の要素としては扱わない)

#### 〈文の要素と品詞の関係〉

S	主語(Subject)	「~は」「~が」	名詞(代名詞)
V	述語動詞(Verb)	「~する」「~である]	動詞
0	目的語(Object)	動作の対象となるもの	名詞(代名詞)
С	補語(Complement)	SやOを説明するもの	形容詞·名詞(代名詞)
М	修飾語(Modifier)	主要素を修飾するもの	副詞·形容詞

※ 修飾語 英文を構成する場合、「文の要素」以外に修飾語を用いることで表現豊かな文となる。



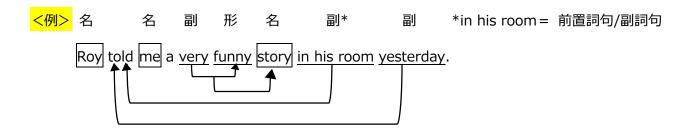
#### ◆ 自動詞と他動詞

動詞は**自動詞**(目的語不要)・他動詞(目的語必要)の2つに大きく分けられるが、 多くの動詞は自動詞、他動詞両方の使い方がある。

- ① 自動詞: She <u>walks</u> in the park. / You <u>are</u> very kind. (kind = 主語[You]の補語)
- ② 他動詞: I read an English book. (an English book = 動詞[read]の目的語)
  - / He **teaches** us Japanese. (us、Japanese = ともに動詞[teaches]の目的語)
  - / I call the dog John. (the dog = 動詞[call]の目的語、John = 目的語[the dog]の補語)

### EXERCISES

- 1. <例>にならって、以下の文中の「名詞」(代名詞を含む)・「形容詞」・「副詞」をすべて指摘しなさい。
- 2. <mark><例></mark>のような矢印を用いて、下線部の修飾語(句)=形容詞(句)·副詞(句) は、どの語を修飾しているか示しなさい。



(1) The students worked hard.

- (2) That poor man became very rich.
- (3) Ken collects old stamps for fun.
- (4) She will become a good wife.
- (5) We asked Mr. White some questions.
- (6) I finally thought him a useful man.
- (7) He likes books about cooking.
- (8) He showed me the album last week.

3. 以下の文を完成させなさい。

文中でS(主語)になりえる品詞は(詞)<u>のみ</u>である。

同様にO(目的語)になりえる品詞も(詞)のみである。

これに対し、C (補語)になりえる品詞は (詞)と (詞)である。

副詞はS、O、Cなどの文の主要素として働くことはない。

- 4. 次の各文の動詞が自動詞/他動詞のどちらであるかを指摘し、文全体を日本語に訳しなさい。
- (1) He will **leave** for America tomorrow morning. [動詞]

訳:

(2) Don't <u>leave</u> your umbrella in the train. [ 動詞]

訳:

## 第2日 第1文型~第3文型

文は、主語、述語動詞、補語、目的語の4要素の組み合わせによって5つの文型に分けられる。

#### ◆ S+V(第1文型)

主語と動詞だけを要素とする文。

- 1 Time flies.
- ② I live in the \*suburbs of Tokyo.
- ※There is[are]~.の文も第1文型になる。

There is a book on the desk.

#### ◆ S+V+C(第2文型)

主語と動詞のほかに**補語がある**文。補語になるものには名詞(代名詞)、形容詞と、それらと同じ働きをする相当語句である。

\*suburbs: 郊外

- ① My father is an office worker. · · · · · 〈名詞句〉
- ② He looked very **angry**. ····· <形容詞>
- ③ His wish is **to be a singer**. · · · · · 〈不定詞句〉

#### ※第2文型に用いられる動詞

be, keep, remain, lie, stand, seem など<状態>become, get, turn, grow など<変化>feel, sound, smell など<感覚>

#### ◆ S+V+O(第3文型)

主語と動詞のあとに、動詞の動作を受ける語である目的語がくる。目的語になるものは、名詞(代名詞)と、その相当語句である。

- ① We had a lot of rain last month. <名詞>
- ② He decided to study American history. <不定詞句>
- ③ I like traveling by airplane. <動名詞句>

#### ※第2文型と第3文型

- ·Kate is a fashion designer. (補語) → Kate = a fashion designer (第2文型)
- ·I like Kate. (目的語) → I≠Kate (第3文型)

# EXERCISES

1. 次の各又の下線部か目的語	iなりO、伸語なりCを書	きなさい。			
(1) She likes the movie.			(	)	
(2) Jane married Frank la	st month.		(	)	
(3) The apples don't taste	good.		(	)	
(4) The milk went sour.			(	)	
(5) Have some more coffe	<u>e</u> .		(	)	
(6) He became Prime Min	<u>ster</u> in 1940.		(	)	
2. 次の各文は第1文型、第2	文型、第3文型のどれが	ט'。			
(1) Some stores remain o	pen all night.				
(2) Spring comes after wi	nter.				
(3) The earth moves arou	nd the sun.				
(4) I like sports very muc	n.				
(5) The music sounds swe	et.				
(6) We grow roses in our	garden.				
(7) It grows dark.					
(8) Once there was a wise	king in the countr	y.			
3. 次の各組の文がほぼ同じ意味	未を表すように、( )	に適語を入れなさい。			
(1) How many books do y	ou have in your roo	om?			
How many books (	)(	) in you	r room?	?	
(2) Who runs fastest in yo	our club?				
Who (	the fastest (	) in your	club?		
4. 次の文を日本語に訳しなさい	١.				
(1) On one of the golden 訳:	mornings I set out	alone in search of	f new a	idventures.	
(2) The opinions and beh 訳:	aviors of the people	e around us affect	to a lar	ge extent thos	e of ours.

#### 4. 次の英文を読んで、あとの問いに答えなさい。

In some parts of the world, English may not be the everyday language of people but an official or common language of law, business and government. How many ①such areas can you name? If you don't understand the question, think about the case of India. ②Many local languages are used in India, but English is clearly an important common language. ③ 【 in English / are written / in / papers / the government 】. Business is done in English in many company offices. English is the state language of two of the states of India, and it is taught at school in all parts of the country. India is just one example. English is used for government or business communication in many parts of the world. The Philippines and South Africa belong to the group of ④such countries.

⑤ English was just a language spoken in a small corner of Europe until some centuries ago, but it is now the first language of about five hundred million people living all over the world.

問1	下線部①とはどんな地域ですか。日本語で説明しなさい。
_	
問2	下線部②を日本語に訳しなさい。
_	
問3	③【 】内の語を意味が通るように並び換えなさい。ただし、文頭の語も小文字にしてあります。
問4	下線部④とはどんな国ですか。日本語で説明しなさい。
_	
問5	下線部⑤を日本語に訳しなさい。
_	